

埠頭をフィッシュヤーマンズワーフに



活性化が求められている船橋漁港

西尾議員 新型コロナウイルスワクチンに関する情報提供についてだが、若い世代をはじめ、県民がデマや間違った情報によって判断を誤らないよう、科学的根拠に基づく正しい情報を提供すべきと考えるが、県はどういうに取り組んでいるのか。

知事 インターネットなどでは、新型コロナワクチンに関する様々な情報がありますが、その中には、科学的根拠や信頼のおける情報源に基づかない、不確

そこで、県では、広く県民に対し不確かな情報に或わされないよう注意喚起を行うとともに、厚生労働省などから得た科学的知見に基づいた情報を県民だよりやラジオ、ホームページ等を通して発信しているところです。

また、SNSなどを通じて情報を得る機会が多いとされている若者に対しても接種について正しい情報を基づいて判断していただけます。

るよう、SNSやユーチューブ等を活用し、正確な情報の発信などを引き続き行ってまいります。

新型コロナウィルスワクチン デマ情報に注意喚起

の販売や博物館、ショッピングセンターなどが集まつて、一大観光地になっている。

そこで、過去に何度も県議会で、船橋港の活用について取り上げてきた。地元市の「海を活かしたまちづくり」基本構想・基本計画の中で、魚の市場やシーフードレストランなどの整備による

船橋漁港の活性化のため
フィッシュシャーマンズワーフ業を行なう事業者を公募す
きと考えるがどうか。まさ
公募に至らなくとも意欲
な事業者が現れた場合に
当該事業者と協議すべし
考るがどうか。

西尾議員 県は加熱式たばこ害性をどれだけ認識し、どのよ県民に周知・啓発しているのか

保健医療担当部長 世界衛関(WHO)では、すべてのたん品は有害であり、加熱式たばこではないとの見解を示しており、健康増進法の受動喫煙防止対象には、加熱式たばこも含まれるものと認識しています。

西尾議員 サンフランシ

賑わいの創出がうたわれて

船橋市漁業協同組合による
魚介類の卸しや、船橋ボ
ートパークの付帯施設、砂・
砂利等の野積場として使用
されており、新たに事業を展
開するスペースの確保が難

しいことから、現時点では
県独自でファイズシャーマン
ワーフ事業を実施すること
や、事業者を公募すること
考えておりません。

業者から相談があつた場には、計画内容を確認の上、船橋市や、現在、埠頭を使っている船橋市漁業協同組合などの関係機関と情報共有してまいります。

と。竹林は管理が行き届ないと広がり、農業や林業に悪影響を及ぼす。県として放置竹林が増加しないようにするため、どのように対策をしているのか。

船橋漁港に賑わいを

うえで有効と考えるので、特典等の対策を講じるよう要望する。

放置竹林の拡大防止

農業に悪影響、伐採支援

西尾議員 林野庁によつて
と全国の竹林面積は201
7年に16万7000ヘクタ



光風みどり園そばの畠道にガードパイプが設置された（小野田町）

ールで 5年間で約50
0ヘクタール増えたとの

放置竹林の拡大防止に向けた啓発を行っております。

西尾議員 県は加熱式たばこの有害性をどれだけ認識し、どのように喫民に周知啓発しているのか。

保健医療担当部長 世界保健機関(WHO)では、すべてのたばこ製品は有害であり、加熱式たばこも例外ではないとの見解を示しており、また、健康増進法の受動喫煙防止対策の対象には、加熱式たばこも含まれているものと認識しています。

このため、県では、加熱式たばこに

県、有害性を啓発

も、ニコチン等の有害物質が多く含まれていることや、煙が少なくとも、周囲の受動喫煙に配慮する必要があること等を記載した、各種啓発物を作成配付しているところです。

また、昨年3月に県が公表した、県民の生活習慣に関する調査結果では加熱式たばこの喫煙者は全喫煙者の約3割に及び、近年、増加傾向にあることが判明しており、今後とも、県民に加熱式たばこの有害性に関する啓発を進めていきたいと考えています。

喫煙者の3割、加熱式たばこ